

# エコカーガイド



上：プラグインハイブリッド自動車（トヨタ／プリウス PHV）  
下：燃料電池自動車（トヨタ／MIRAI）

自動車は便利で生活にかかせないものですが、自動車からの排出ガスには二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）や大気汚染物質が含まれるため、地球温暖化や大気汚染の原因になります。自動車からのCO<sub>2</sub>や大気汚染物質を減らすためには、環境にやさしいエコカーが広まっていくことが大切です。

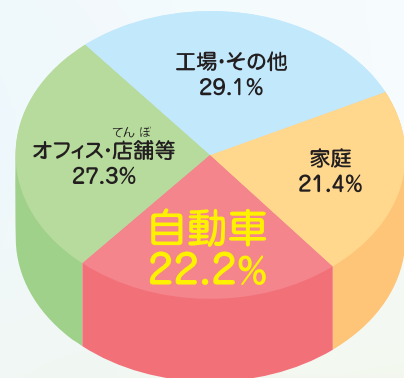


## なぜエコカーが必要な？

～自動車から見た環境問題～

### 車によるCO<sub>2</sub>排出量が多い

名古屋市内のCO<sub>2</sub>排出量のうち、自動車からの排出量は約1/5を占めています。



平成28年度 二酸化炭素の排出量  
1,407万トン/年 (出典:名古屋市 温室効果ガス排出量の調査結果)

### 車から排出される大気汚染物質

自動車から排出される窒素酸化物や硫酸酸化物は、大気汚染の原因の一つで、健康被害も心配されます。また、自動車は微小粒子状物質 (PM2.5) の発生源の一つでもあります。

★窒素酸化物 (NOx)  
物を燃やした時、空気中や燃料中の窒素から発生し、ぜんそくの原因になると言われています。

★微小粒子状物質 (PM2.5)  
空気中に浮遊する非常に細かい粒子の総称。肺がん、ぜんそくなどへ影響を与えるとされています。

### 石油エネルギーの将来への不安

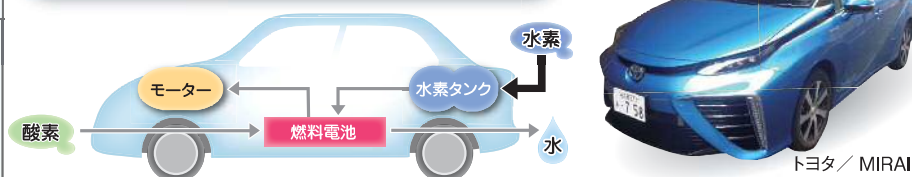
日本は石油エネルギーの大部分を海外から輸入しているため、石油に代わるエネルギーの利用や、省エネルギーに役立つ自動車を使うことも大切です。

## 次世代自動車ラインナップ

### 「次世代自動車」とは？

エコカーの中でも、特に排出ガス性能がすぐれ、環境にやさしい自動車のことです。排出されるCO<sub>2</sub>や大気汚染物質が少ない (または全く出ない) ほか、ガソリン以外の燃料や電気を使って走るので、燃費性能にもすぐれています。走行中の騒音が小さいのも特長です。

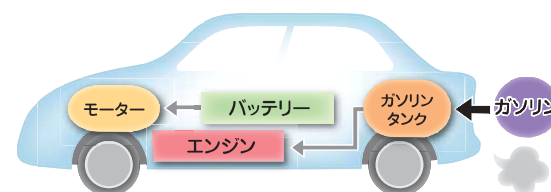
#### 燃料電池自動車 (FCV)



トヨタ / MIRAI

水素と空気中の酸素を、燃料電池という装置で化学反応させ、発電した電気でモーターを動かして走る自動車です。走行時に排出するのは水だけで、CO<sub>2</sub>や大気汚染物質を出しません。走行距離がガソリン車並みに長く、長距離の移動もできます。

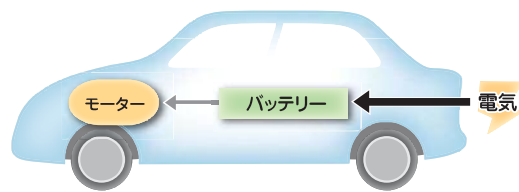
#### ハイブリッド自動車 (HV)



ホンダ / ステップワゴンHV

一般的なガソリン車にモーターとバッテリーを追加した自動車です。モーターが走りをサポートするため、通常のガソリン車に比べてCO<sub>2</sub>や大気汚染物質の排出も少なく、低燃費です。

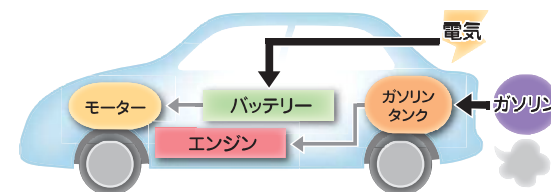
#### 電気自動車 (EV)



日産 / リーフ e+

バッテリーに充電した電気でモーターを動かして走る自動車です。走行時にCO<sub>2</sub>や大気汚染物質を一切出さず、モーター音もとても静かです。ガソリン車と比べて構造が簡単なため、小型化した自動車も開発されています。

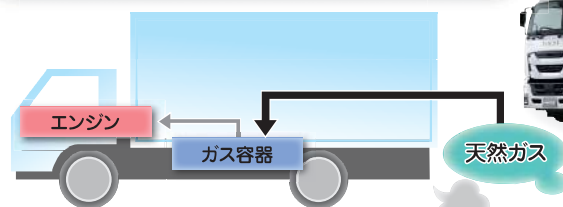
#### プラグインハイブリッド自動車 (PHV・PHEV)



三菱 / アウトランダー PHEV

ハイブリッド自動車に充電用プラグを搭載し、バッテリーに充電できるようにした自動車です。電気を使い切ってもガソリンで走行できるので、電気の残量を気にしないで長距離の移動ができます。

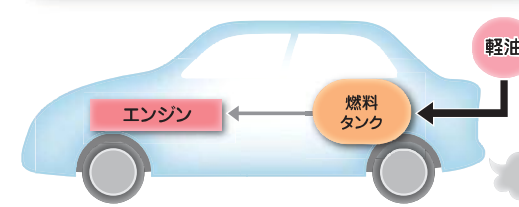
#### 天然ガス自動車



いすゞ / ギガ

都市ガスを燃料として走る自動車です。都市ガスは石油由来ではないため、ガソリン車と比べてCO<sub>2</sub>や大気汚染物質の排出が少ないのが特長です。バスやトラックなどで使用されています。

#### クリーンディーゼル自動車



マツダ / CX-8

自動車の排出ガスに関する規制「ポスト新長期規制」に適合するよう大気汚染物質の排出量を減らしたディーゼル自動車です。従来のディーゼル自動車よりも騒音が小さく、CO<sub>2</sub>排出量が少ないのも特長です。



# エコカーの豆知識

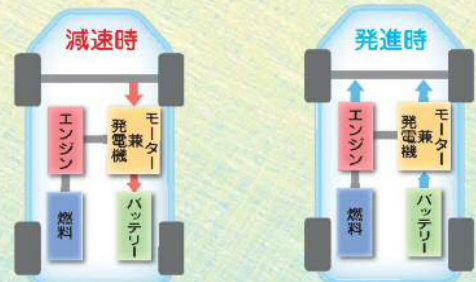
## 「低排出ガス車」 「燃費基準達成車」

排出ガスや燃費について、国が定める基準を達成、もしくは基準よりすぐれた性能をもつ自動車には、下のようなステッカーが貼られています。



## エネルギー回生システム

ブレーキ時のエネルギーを電気に変え、バッテリーに蓄電するしくみです。ためた電気を発進時に利用するため、燃料の消費を抑えられます。



HV、PHV、EV、FCVに搭載

## 充電スポット 電気自動車 (プラグインハイブリッド自動車)

商業施設やコンビニ、自動車販売店、高速道路のサービスエリアなど、外出中に充電できる場所が増えています。急速充電設備であれば、およそ30分で充電できます。



## 水素ステーション (燃料電池自動車)

水素ステーションでは、燃料となる水素を約3分で充填することができます。水素ステーションの数はまだ少ないため、整備を進めることが重要な課題です。

